

ひるむな、 私たち。

就労支援フォーラムNIPPON
緊急1万人ミーティングのご案内

2020.8.24 [月] - 26 [水]

3夜連続オンラインで開催します



就労支援 フォーラム NIPPONonline

全員で、立ち向かう。

コロナ禍において、一般就労から福祉就労まで、多くの現場は先の見えない不安に覆われ、これまでの蓄積の崩壊を危惧する声が各地から聞こえてきています。そこで今回、8月24日[月]ー26日[水]の3日間、オンラインにて「就労支援フォーラム NIPPON オンライン～緊急10,000人ミーティング～『ひるむな、私たち。NIPPON 進化論』」を急遽開催することになりました。

本フォーラム初となるオンライン開催には、就労支援事業所をはじめ、医療、行政、企業など全国各地の障害者就労の現場から多くの参加を見込んでいます。国の対策や先んじた実践の共有、さらには、今だからこそ忘れてはならない就労支援の意義を考える議論などを通して、変えてはいけないこと、変わるべきことを正しく理解し、具体的行動につなげることが目的です。

励まし合い、刺激し合い ― ひるむな、私たち。

共感と希望に満ちた、真夏の夜のオンラインフォーラムでお会いしましょう。

就労支援フォーラム NIPPON



障害のある人の「働きたい」を実現するために、工賃の低さや一般就労への移行をはじめとする諸課題の解決に向けて、事業所、企業、自治体、行政、医療、研究・教育機関など、障害者就労支援にかかわる多様な関係者が全国から集い、学び、情報交換を行う、日本最大の障害者就労プラットフォームです。2014年から毎年12月に東京で開催している全国版フォーラムを軸に、各地でさまざまなサブフォーラムも行い、これまで延べ10,000人以上の参加者とともに活発に議論し、この国の障害者就労に関するすべての課題を顕在化させ、現場に、国に、具体的な改善を働きかけてきました。過去のフォーラムのプログラムは公式サイトでご覧いただけます。

<https://hataraku-nippon.jp/archive/forum/>

第1夜 8.24[月] 17:15 – 20:10



17:30–18:00
オンラインレポート

日本列島ライブ中継！就労支援の現場から（3夜連続企画）

昨年のいまごろ、この状況を想定していた人はいなかったはずですが。このコロナ禍で、地域によって濃淡はあるものの、少なからず影響を受け、しかしこのままではいけないと現場ではさまざまな工夫が行われています。その試行錯誤はきっと、支援を間違えなくアップデートさせていくことでしょう。3夜連続で実施する本プログラムでは、全国9つの地域、11の現場をライブ中継でつなぎ、それぞれの「現状」「工夫」「要望／意見」を報告していただきます。あなたの現場で活かせるヒントをぜひ見つけてください。



18:00–18:05
メッセージ

コロナ禍の障害者就労支援に寄せて ※ビデオメッセージ

加藤勝信 | 厚生労働大臣 衆議院議員



18:05–18:35
セミナー

厚生労働省説明「就労支援関連補正予算など」



源河真規子

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長

周知の通り、特別定額給付金（10万円給付）などさまざまな補正予算が組まれています。一般国民や事業者向けの施策に関する報道は連日繰り返されていますが、障害者就労支援に関しては報道も少なく、通知のみでは「うちの事業は該当するのか？」「これは使うべきなの？」と判断に迷うことも少なくない状況だと思います。事業を継続していくためには補助金をどう活用すればよいのか、など、予算のすべてについて、厚労省障害福祉課よりご説明いただきます。



18:45–20:00
パネルディスカッション

いま、あらためて問う——障害者就労とはなにか？



藤尾健二

NPO法人ワークス未来千葉 千葉障害者就業支援キャリアセンター センター長



有村秀一

一般社団法人障害者雇用企業支援協会 理事



小野寺徳子

厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課 課長



村木太郎

大正大学地域構想研究所 教授

進行：竹村志麻 | テレビ高知東京支社 編成業務部長 / 竹村利道 | 日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

「障害者雇用どころではないのではないのか」「これまで働いてきた人の雇用維持こそが喫緊となるだろうに、障害者雇用率を上げていいのか」と、ひるむ声が聞こえてきます。障害者就労支援に携わってきた者が、いまこそしっかりと踏みとどまらなければ、積み上げてきたものが崩壊するかもしれません。パネリストのみなさんに、その危惧を発信し、現場を鼓舞していただきます。ひるむな、私たち。課題の解決と併行しながら、いま、あらためて、障害者就労の意義について前向きに再認識するために、今回のメインプログラムとして企画しました。



第2夜 8.25 [火] 17:20 – 20:30



17:35–18:45
パネルディスカッション

仕事確保の処方箋 ～BPOと施設外就労～



小野貴也
VALT JAPAN株式会社 代表取締役



奥西利江
社会福祉法人維雅幸育会ふっくりあもオンマール 管理者



石井悠久
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐



進行：村上智則
日本財団公益事業部国内事業開発チーム リーダー

福祉就労支援向け講座。各地から「仕事がなくなった」「工賃が確保できない」といった声が聞こえ、報道もその窮状を訴えます。それは確かな現実ですが、しかし「方法は100万通りある」はず。この状況下で特に感じられるのは「仕事を固定しないこと」の強みです。「ぜひ補助を!」と言う前にすべきことは、事業の見直しをはじめとした対策そのものに取り組むことではないでしょうか。明日からでもすぐに実行できる対策について、「BPO（業務アウトソーシング）」と「施設外就労」という古典的な仕組みから学びます。



18:55–19:23
オンラインレポート

日本列島ライブ中継！ 就労支援の現場から（3夜連続企画）



19:25–20:25
パネルディスカッション

企業の課題と対策 ～COVID-19とBCP～



丸物正直
公益社団法人全国障害者雇用事業所協会 専務理事



且田久美
エフビコダックス株式会社企画支援課 マネージャー

進行：竹村利道 | 日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

企業は、災害等に備えた「BCP（事業継続計画）」を常日頃から意識しています。しかし、パンデミックという事態を想定していた企業はあっても、明確に「障害者雇用」の文脈と絡めて策定していた企業はなかったのではないかと、というのが偽らざる実感です。たまたまIT系企業だったのでリモートワークに切り替えても支障はなかったというケース以外、各社とも苦悩が続いており、福祉就労と違って公的な支援も皆無と思われる状況で、いま「何が求められるのか?」「法定雇用率の上乗せ0.1%はどうする?」「就労支援事業はただ何もせず傍観者の立場なのか?」などの議論を深めたいと思います。

第3夜 8.26 [水] 17:35 – 21:00



17:50–18:55
パネルディスカッション

HOW TO 遠隔就労支援 ～移行支援から雇用管理まで～



依田 晶男
医療機関の障害者雇用ネットワーク 代表



宇田 亮一
一般社団法人SPIS研究所 理事長



奥脇 学
有限会社奥進システム 代表取締役

4月以降、企業ではテレワークの模索とともに、採用面接や産業医面談でもZoomやTeamsなどの活用が一気に広がり、就労支援の分野でもこうしたICT化の急速な流れを前提にした対応が求められています。今回はオンラインフォーラムの特性を生かして、参加者のみなさんに「遠隔就労支援」を実際に体感していただけます。具体的には、すでに発達障害や精神障害のある700人以上の方に利用されているWeb日報システム「SPIS（エスピス）」を使用します。SPISは、利用者、職場担当者、外部支援者の3者がWeb上で情報共有するなかで安定的な就労環境を実現しようとするツールです。外部支援者が着目すべき点やかわかり方を複数の事例でみたくうえで、遠隔支援のメリットや課題を整理し、普及に向けた提案を行います。



19:05–19:30
オンラインレポート

日本列島ライブ中継！ 就労支援の現場から（3夜連続企画）



19:35–20:45
パネルディスカッション

進化論 ～変わるもの、変えてはならぬもの～



堀江 美里
NPO法人WEL'S就業・生活支援センター WEL'S TOKYO 主任定着支援担当兼センター長



金塚 たかし
大阪精神障害者就労支援ネットワーク 統括施設長



依田 晶男
医療機関の障害者雇用ネットワーク 代表



進行：竹村 利道
日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

第1夜のメインプログラム「いま、あらためて問う——障害者就労とはなにか？」および、いくつかの各論を経て、最後に、私たちがこれから先も変えてはいけないこと、そして、これから進化すべきことについて、それぞれに取り組んできた経過と現在への思いも含め、できるだけ前向きに語り合い、さらにこの3日間で参加者のみなさんから届いたご質問やご意見にもお答えしながら、その進化論を表明したいと思えます。

開催概要

就労支援フォーラムNIPPON オンライン ～緊急10,000人ミーティング～ 「ひるむな、私たち。NIPPON進化論」

日 時 2020年 8月24日[月] 17:15 – 20:10
8月25日[火] 17:20 – 20:30
8月26日[水] 17:35 – 21:00

方 法 日本財団ビル内特設スタジオよりオンラインLIVE配信

対 象 全国の障害者就労支援事業所、企業、医療従事者、障害当事者・家族、
そのほか障害者就労支援にかかわる関係者・機関

参 加 者 10,000名(想定)

参 加 費 1,500円(消費税込) ※3日間すべてのプログラムを視聴できます

主 催 日本財団

協働企画 日本精神科看護協会、日本作業療法士協会、日本精神保健福祉士協会、
全国社会就労センター協議会、きょうされん、就労継続支援A型事業所全国協議会、
ジョブコーチ・ネットワーク、全国就業支援ネットワーク、全国就労移行支援事業所連絡協議会、
日本セルフセンター、障害者雇用企業支援協会、全国障害者雇用事業所協会

お申し込み

参加費 1,500円（消費税込） ※3日間すべてのプログラムを視聴できます

申込方法 インターネットでのお申し込みのみとなります
チケット販売サイト「Peatix」よりお申し込みください

[🔗 https://shuroushien-online.peatix.com/](https://shuroushien-online.peatix.com/)

※フォーラム公式サイト (hataraku-nippon.jp/forum-online) にリンクがあります
※お申し込みにはメールアドレスが必要です



申込期間 2020年8月3日 [月] – 8月26日 [水]

申込期限 2020年8月26日 [水] 17:30

※定員に達した時点で申し込みを締め切らせていただきます
※上記時間までに入金確認が取れた方に限ります

視聴について

- チケット販売サイト「Peatix」にて入金確認後、視聴ページのURLをご案内します
- 視聴用のパソコン（またはスマートフォンやタブレット）とネット環境をご用意ください
- インターネットが利用できれば、アプリやソフトのインストールは不要です
- 動画配信となり通信量を多く消費するため、Wi-Fi環境を推奨します
- 配信には手話通訳をご用意しています
- 当日、メールやFAXなどでご意見やご質問を募集します。ぜひコメントをお寄せください
- フォーラム公式サイトにお申し込みや視聴に関する「よくある質問」を掲載しています

[🔗 hataraku-nippon.jp/forum-online](https://hataraku-nippon.jp/forum-online)

お問い合わせ先

就労支援フォーラムNIPPON オンライン～緊急10,000人ミーティング～ 運営事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-5 NBF渋谷イースト（株式会社フロンティアインターナショナル内）

☎ 03-4570-0914（10:00–12:00 / 13:00–16:00 ※土日祝を除く）

✉ shuroushien.online@frontier-i.co.jp

就労支援 フォーラム NIPPON

2020年度は4回のフォーラムを開催します

毎年12月の「全国版（東京開催）」フォーラムと連関しながら、「地方開催」フォーラムを新たに展開します。障害者就労の視点、論点をリードし、企業や福祉ほか関係機関のハブとなり、政治、行政への影響力を高め、具体的かつ効果の高いイノベーションの実現に向かいます。8/24 [月]～26 [水]のオンラインフォーラムのなかで、11月以降の福岡、東京、鳥取の概要についてもご案内します。

2020年
8月24日 [月] - 26日 [水]

就労支援フォーラムNIPPON オンライン ～緊急10,000人ミーティング～
「ひるむな、私たち。NIPPON進化論」

※オンライン開催

2020年
11月18日 [水]

就労支援フォーラムNIPPON in 福岡（ホテルニューオータニ博多）
重度障害者の就労支援を中心に「包摂～Inclusion～」をテーマに行います

※会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催

2020年
12月12日 [土] - 13日 [日]

就労支援フォーラムNIPPON in 東京（ベルサール新宿グランド）
7回目となる全国版フォーラムのテーマは「The Answer」。答えを出します

※会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催

2021年
2月21日 [日]

就労支援フォーラムNIPPON in 鳥取（米子コンベンションセンター）
工賃向上や事業改善、報酬改定など「経営～Business～」をテーマに行います

※会場での開催



「就労支援フォーラムNIPPON」は、日本財団の新しい就労支援の取り組み「はたらく障害者サポートプロジェクト」の1つです。本プロジェクトは、いま絶対に乗り越えなければならない課題と、それらに対する出口として具体的な解答やビジョンを示し、着実に実行することによって、障害のある人の「はたらく」を全力で応援します。詳細は公式サイトをご覧ください。

<https://hataraku-nippon.jp/>